

# 【参考事例①】

## ◆ 感染防止対策内容

医療職用の感染者（疑い含む）発生時の対応フローを作成

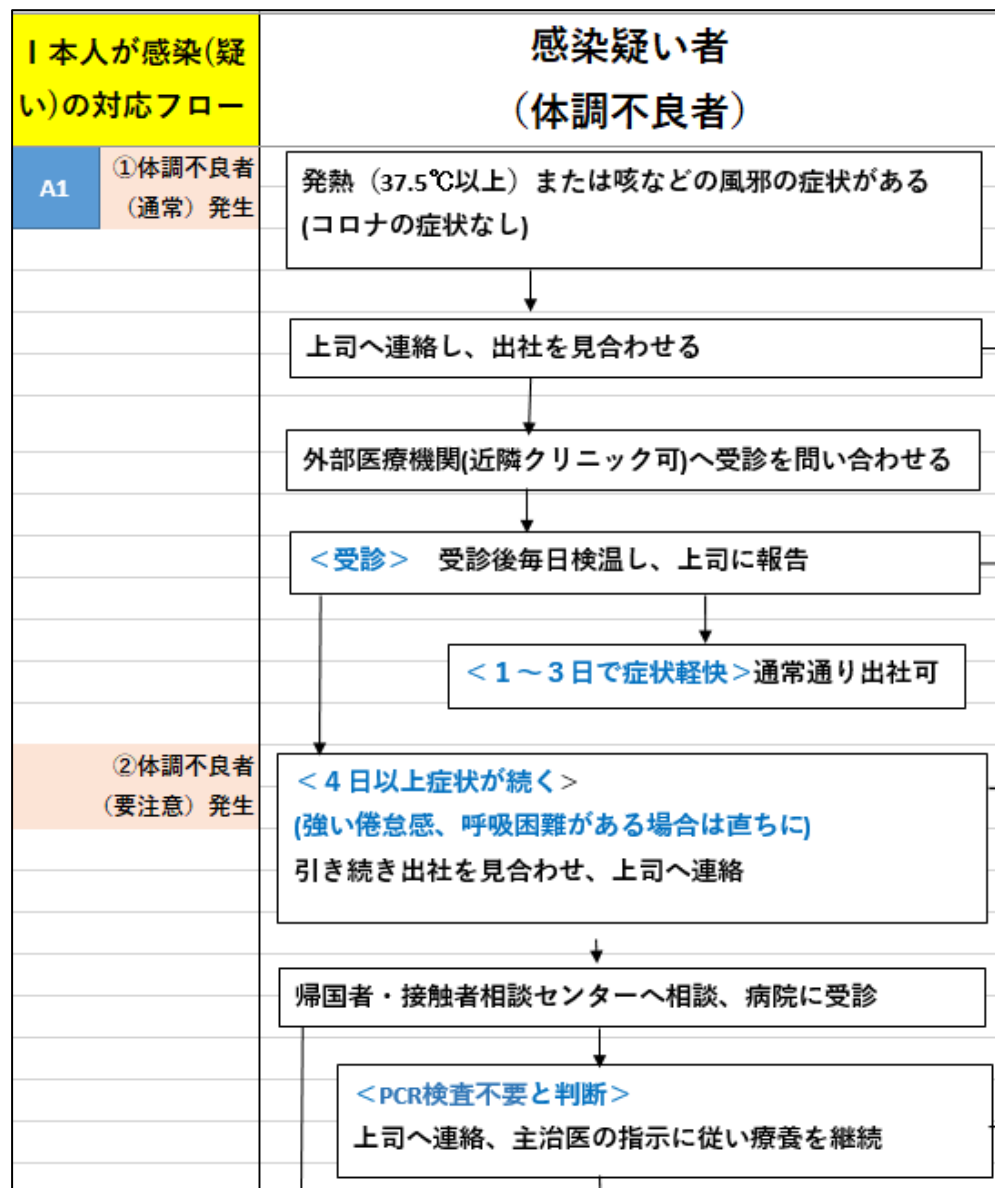
## ◆ 効果/狙い

感染者および濃厚接触者等が発生した際に各工場医療職が統一した対応が出来る

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

工場によって状況が異なる為、調整に苦慮状況が変わるに合わせ、随時内容変更を実施

## ◆ フロー図（一部抜粋）



# 【参考事例②】

## ◆ 感染防止対策内容

感染者及び濃厚接触者等発生時に  
医療職が使用する各種様式作成：

- ①新型コロナウイルス対策について（職場配布用）
- ②職場の消毒について（職場配布用）
- ③体調確認チェック表    ④体調不良者聞き取りシート
- ⑤対策記入シート        ⑥保健所確認内容一覧

## ◆ 効果/狙い

感染者および濃厚接触者等が発生  
した際に各工場医療職が統一した  
対応が出来る

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

状況に応じ随時内容更新している

### 新型コロナウイルス対策について(職場用)

行って頂きたいこと

- ① 様式⑤の記入
- ② 濃厚接触疑い者リストの作成(候補案)と提出

濃厚接触疑い者とは？

- ・感染疑い者の机から2m 圏内に座席のある人
- ・感染疑い者が発症前2日間の間に直接会話をした人、または会議等に同席した人
- ・感染疑い者と発症前2日間の間に事務備品、作業用品等を共用した人

- ③ 消毒の準備（様式②参照）

準備物品：消毒用エタノール(70%濃度程度)、次亜塩素酸水、手袋、マスク、ゴミ袋

- ④ 調チェック票の確認・配布準備

#### 新型コロナウイルス対策記入シート

記入日 年 月 日

JC ( )	氏名 ( )	年齢 ( )	歳
部署名 ( )	部 ( )	課 ( )	
勤務場所 ( )	工場 ( )	階 ( )	エリア ( )
居住地 ( )	市・町 ( )		
連絡先 自宅電話 ( )	携帯電話番号 ( )		
自宅待機後の連絡方法	自宅電話・携帯電話・社内メール・その他 ( )		
感染(疑)者との接触状況			
対象者の発症前2日間の間に接した場面について、 <b>具体的・詳細にお書きください。&lt;必須&gt;</b>			
*対象者との位置関係等は <b>図示</b> してください。複数回接触した場合は <b>裏面</b> をご利用ください			
日時	状況		マスク
月 日			対象者
時 分			有・無
～			
時 分			記入者
( 分)			有・無

# 【参考事例③】

## ◆ 感染防止対策内容

消毒対応セット常備

## ◆ 効果/狙い

感染者が発生した職場の消毒を円滑に実施する為、各工場に必要物品を配備



# 【参考事例④】

## ◆ 感染防止対策内容

感染者発生職場での消毒指導

## ◆ 効果/狙い

医療職（産業医・保健師）立会いのもと  
消毒方法についての指導



# 【参考事例⑤】

## ◆ 感染防止対策内容

清掃廃棄物(感染性廃棄物) の隔離・保管

## ◆ 効果/狙い

廃棄物による、二次感染予防

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

関係者以外立ち入らない様、扉にカギを設置



# 【参考事例⑥】

## ◆ 感染防止対策内容

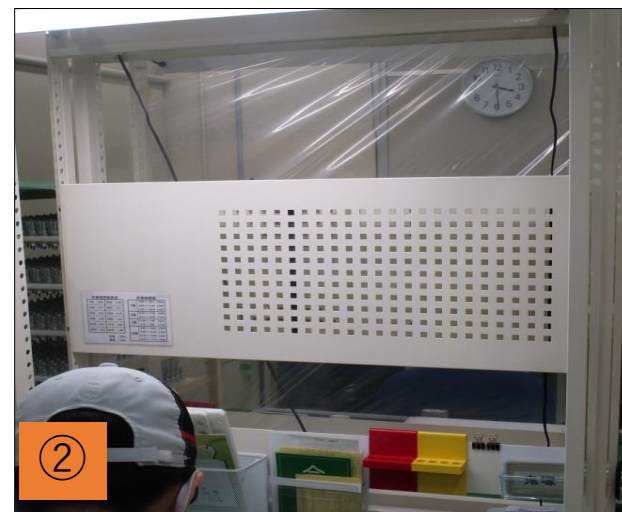
製造現場での作業者の接触を防止する為、作業台境界にアクリル板を設置（①写真）、飛沫飛散防止として作業台前面にビニールシートを設置（②写真）

## ◆ 効果/狙い

接触及び飛沫飛散による感染リスクを低減

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

透明アクリル板にスクリーン及び表示を施し、仕切り板が有る事を認識させることで安全にも配慮（①写真）



# 【参考事例⑦】

## ◆ 感染防止対策内容

【職場の定期清掃：共有備品の除菌と清掃】

- ・ 職場毎に時間を決めて共有備品の除菌と清掃を実施し、内容を記録

## ◆ 効果/狙い

- ・ 感染者や濃厚接触者が発生した際の感染履歴として使用し、濃厚接触者の判断材料として活用



## 新型コロナウイルス感染予防 消毒チェックシート

2020年 8月

例

○良好 ×是正  
【実施確認頻度】

消毒箇所		日付	第 1			
			月	火	水	木
※消毒カ所は、共用する所、飛沫付着する所を実施。						
場所	消毒部位	点検者	結果 (○)			
部屋・休憩所	① ドアノブ ② スイッチ・ボタン (自動ドア・照明・エアコン・ 扇風機・コピー機・自販機など) ③ テーブル (共用) ④ 椅子 (共用) ⑤ 電話機	日勤者	日勤			
			1直			
設備	⑥ パソコン キーボード(共用) ⑦ 設備タッチパネル ⑧ 作業台 台車の取って部分	各直 ソフトリーダー	2直			
エレベーター や階段	⑨ エレベーターボタン ⑩ 階段手すり		3直			

## 【参考事例⑧】

### ◆ 感染防止対策内容

事務作業エリアでの飛沫飛散防止するため、  
対面する事務机の間にビニールシートを設置

### ◆ 効果/狙い

接触及び飛沫飛散による感染リスクを低減

### ◆ 困り事/苦勞/工夫

ビニールシートを設置していない左右の間隔も、  
1.5メートル以上を確保





# 【参考事例⑨】

## ◆ 感染防止対策内容

### 【従業員食堂の座席配置変更】

- ・ 座席数を削減し、座席間隔を空ける
- ・ 対面着座から全員正面向き着座にレイアウトを変更

## ◆ 効果/狙い

- ・ ソーシャルディスタンスの確保
- ・ 正面向きの着座とし、食事中の会話を少なくさせることによる飛沫飛散による関連リスクの低減

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

座席数の減少に伴い、喫食時間帯のシフト数を増加せざるを得なくなり、改めて人数割り設定を行う必要が発生

## ◆ 対策前



## ◆ 対策後



# 【参考事例⑩】

## ◆ 感染防止対策内容

### 【従業員食堂の動線コントロール】

- ・ 配膳時の待機場所、移動ルートを床面に表示し、動線と待機時の間隔を明確化

## ◆ 効果/狙い

ソーシャルディスタンスを確保して感染を防止

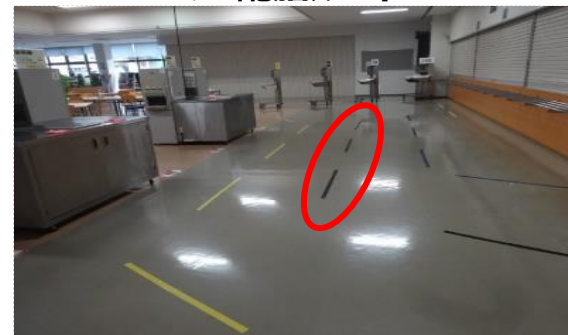
## ◆ 困り事/苦勞/工夫

ソーシャルディスタンスの確保に不徹底な面があり、更なる工夫が必要

## ◆ トレー置き場



## ◆ 配膳ルート



## ◆ 給湯器



# 【参考事例①】

## ◆ 感染防止対策内容

診療所：①窓口アクリル板設置  
②検温 ③消毒  
④マスク、アイシールド  
⑤衝立設置 ⑥入口開放

## ◆ 効果/狙い

来所者からの感染予防対策



## 【参考事例⑫】

### ◆ 感染防止対策内容

#### 【通勤バス乗車時の感染防止策】

- ・ 乗車時のアルコール消毒、マスク着用の義務化
- ・ 乗車定員の制限（座席の間隔を空ける）
- ・ 車内換気の実施

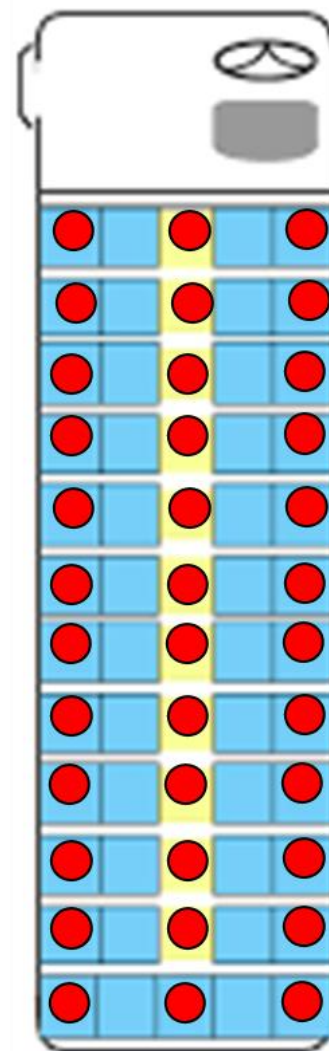
### ◆ 効果/狙い

座席間隔を空け、従業員同士のソーシャルディスタンスを確保

### ◆ 困り事/苦勞/工夫

乗車定員を制限(満席時比約65%)したため、通勤バスの増便も併せて実施

乗車定員の制限  
座席の間隔を空けて乗車  
(乗車位置：赤丸座席)



# 【参考事例⑬】

## ◆ 感染防止対策内容

【シャトル便(本社⇔工場間)の感染防止策】

- ・ 乗車時のアルコール消毒、マスク着用の義務化
- ・ 乗車定員の制限（座席の間隔を空ける）
- ・ 車内換気の実施

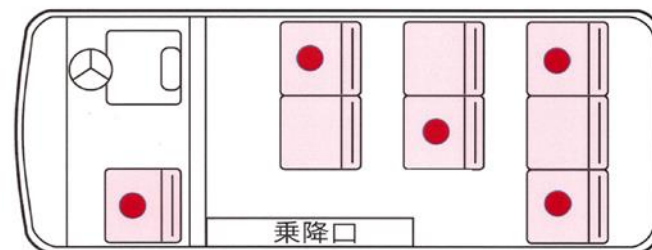
## ◆ 効果/狙い

座席間隔を空け、従業員同士のソーシャルディスタンスを確保

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

在宅勤務、Web会議の推奨により、社内拠点間の移動人数が減少していることを受け、シャトル便の運行本数も削減

乗車定員の制限  
座席の間隔を空けて乗車  
(乗車位置：赤丸座席)



# 【参考事例⑭】

## ◆ 感染防止対策内容

### 【本社受付での感染防止対策】

- ・ 非接触体温計で来訪者に検温を実施
- ・ 本社受付にアルコール消毒器の設置、アクリル板を設置

## ◆ 効果/狙い

- ・ 感染者との濃厚接触を回避し、職場でのクラスター発生の防止
- ・ 多数の来訪者との接触機会のある受付担当者の感染の防止



# 【参考事例⑮】

## ◆ 感染防止対策内容

### 【工場来訪者の健康チェック・感染防止対策】

- ・ 非接触体温計で入場者に検温を実施
- ・ 工場入門票に健康状態チェック欄を追加し、入場時の健康状態を管理
- ・ アルコール消毒器、アクリル板を設置
- ・ マスク配布

## ◆ 効果/狙い

- ・ 感染者との濃厚接触を回避し、職場でのクラスター発生を防止

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

- ・ 混雑する時間帯あり



## お 客 様 入 出 門 票

発行場所

本社工場 東門・第2通用門・北駐車場・北館

※太枠内はお客様がご記入下さい。

日 時	年 月 日	許 可 No.	
会社名		通門証番号	
代表者氏名	※同行者の氏名は下段に記入		
緊急時の連絡先	( )	-	
訪問先	面接者( )	入門時刻 時 分	保安(入門)
入門方法	貨物・乗用・ライトバン その他(車両番号)	面会終了 時 分	面接者
入門理由	1.納品 2.作業 3.打合せ 4.その他 ( )	出門時刻 時 分	保安(出門)
		駐車許可番号	

同行者氏名			

◆撮影機器について  
所持品に✓をつけて下さい。

カメラ機能付携帯電話

カメラ機能付パソコン

ビデオ 検温 良・不良

カメラ 体調 良・不良

誓 約 書

株式会社 御中

貴社の敷地内において、無断で撮影行為を行いません。

代表者署名欄: \_\_\_\_\_

株式会社

# 【参考事例①⑥】

## ◆ 感染防止対策内容

新型コロナ注意喚起の社内放送

## ◆ 効果/狙い

全従業員の意識向上と啓発

< 放送内容 >

新型コロナ対策事務局よりご案内いたします。

感染防止のため、職場では、換気の悪い密閉空間、多くの人の密集する場所、近距離での会話、これらの密閉、密集、密接の3つの密を避けましょう。

休憩時間には窓を開けて換気をおこないましょう。休日はできるだけ人が密集するような場所へ出かけることは避けましょう。

一人ひとりの心がけで感染拡大を防止しましょう。

以上、新型コロナ対策事務局からのご案内でした。



# 【参考事例⑰】

## ◆ 感染防止対策内容

新型コロナに関する産業医講話を  
オンライン実施

## ◆ 効果/狙い

新型コロナに関する知識の向上

## ◆ 困り事/苦勞/工夫

3密を防ぐため、オンラインにて実施

### 2020年度 労働衛生週間活動「衛生講話」開催のご案内

本年は「みなおして 職場の環境 からだの健康」をスローガンとして、  
労働衛生週間が10月 1日～7日まで全国的に展開されます。

ところとからだの健康の確保・向上に努めて頂きたい、下記の要領にて衛生講話を開催致します。  
是非ご参加頂き、ご自身の健康管理に役立てて頂きます様、ご案内申し上げます。  
又、自主的な労働衛生管理活動の大切さを再認識し、積極的な健康づくりに取り組みましょう。

記

【開催日時】 2020年 10月21日(水) 14:00 ~ 15:00

【会場】 オンライン(Google Meet)での開催となります。

【講師】 ○○工場産業医(呼吸器内科) 先生

【演題】 「新型コロナウイルスについて」

以上

# 【参考事例⑱】

## ◆ 感染防止対策内容

メルマガにて換気、メンタル等についての啓発

## ◆ 効果/狙い

全従業員を意識向上と啓発

## ◆ メルマガ（一部抜粋）

### 職場の換気方法について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために厚労省より新しい生活様式を実践することが勧められています。これから、夏を迎えるにあたり、職場での換気方法についてポイントをお伝えします。

#### ～ 職場での換気方法について ～

◆ 冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。

・対角線上での窓を常時開放しましょう。

数センチでも開放されていれば効果があります。窓を開けても風が入りにくい場合は、**空気の入口を小さく、出口を大きく**すると良いでしょう。空気が入ってくる窓を小さく開け空気が外に出る側の窓を大きく開けると効率的な換気ができます。



#### < 窓がない部屋の場合の工夫 >

部屋にある換気口（排気）の位置を確認しましょう。部屋のドアを開け、サーキュレーターなどを置いて部屋の外か中に空気が流れるようにしましょう。

# 【参考事例⑱】

## ◆ 感染防止対策内容

社員向けマスク販売

## ◆ 効果/狙い

入手困難時期の従業員への  
感染予防対策の一環

## ◆ 困り事/苦労/工夫

中国から直接調達

## 「マスク」原価販売のお知らせ（価格改定）

※すでに発行済の組合レポート No. 84 は税別価格で記載しておりました。

新型コロナウイルス感染防止グッズであるマスクをまとまった数量確保することができました。つきましては法令順守のもと、原価にて皆様へ販売することといたしました。詳細につきましては下記をご参照ください。

また、今回の「マスク」確保に関しては会社から絶大なる支援をいただき確保できました。販売は労組で行いますが、労使一体の取り組みであり今後も新型コロナウイルス対策を進めていきます。

### <マスク外観>



### <販売価格>

円(税込み) 50枚/箱 円

※購入単位は「箱」単位で 1箱/従業員まで

### <販売対象>

全従業員（〇〇工場、〇〇工場、など）

### <販売方法>

事前申し込み制

① 第1回申し込み締め切り：5月12日（火）～17:00

② 第2回申し込み締め切り：5月14日（木）～17:00

申し込み希望者は各職場の組合役員へ連絡ください。

※支払いは、給与天引きとなります。

### <受け渡し時期>

第1回申し込み者：5月14日（木）より配付開始

第2回申し込み者：5月18日（月）より配付開始

# 【参考事例⑳】

## ◆ 感染防止対策内容

### 医療面談の対策

- ①対策チェックリスト作成
- ②検温
- ③消毒
- ④換気（サーキュレーター）、面談後の扉開放
- ⑤マスク

事前：面談者の体調自己管理

面談前	診療所	検温（非接触）：対象者⇒検温数値をシステム入力
		手指消毒：対象者 マスク着用
面談中	面談室	換気 扉開放
		位置 対象者と2mの距離を確保（状況に応じ） 対象者とは真正面の位置を避ける
面談後	面談室	換気 面談終了後換気時間を確保（部屋、中廊下） サーキュレーター

## ◆ 効果/狙い

医療職および面談対象者の安全確保した上での面談の実施

## ◆ 困り事/苦労/工夫

対策チェックリストを作成し、対策に漏れがない様に配慮  
サーキュレーターを使用し、強制換気を実施



# 【参考事例⑳】

## ◆ 感染防止対策内容

対象となる基礎疾患等該当者  
(希望者) への対応

- ① 希望者へのマスク配布
- ② 産業医相談

## ◆ 効果/狙い

基礎疾患該当者の感染時における重症化予防

## ◆ 相談窓口開設案内 (一部抜粋)

### 【相談窓口開設】 基礎疾患をお持ちの方へ

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、罹患しても約8割の方は軽症で経過し、治癒する例も多いことが報告されています。一方、季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高いことが報告され、特に、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。特に、以下に挙げる方々は注意が必要です。

- 【1】 免疫抑制剤を内服している
- 【2】 ステロイド剤を1日10mg以上内服している
- 【3】 抗がん剤を使用している
- 【4】 慢性閉塞性肺疾患(略：COPD)を患っている
- 【5】 透析を受けている方
- 【6】 指定難病を患っている

他にも様々な基礎疾患をお持ちの方がいらっしゃいますが、ここで挙げられた疾病をお持ちの方だけが注意しなければいけないわけではなく、皆さんが感染予防対策をしっかりとしなければ